

岩瀬浜(富山市)での漂着物調査の様子(9/13)

富山県と(財)環日本海環境協力センター(NPEC)では、漂着ごみの実態を把握するとともに、参加者の皆様に海を守ることの大切さを理解していただくため、日本、中国、韓国、ロシアの沿岸自治体と連携して「海辺の漂着物調査」を実施しています。

9月13日は岩瀬浜で約80名の皆さんが漂着物調査に熱心に取り組まれました。
当日は真夏日になりましたが、暑い中、ありがとうございました。

【参加者】 富山市立岩瀬小学校(5年生)、富山大学理学部生物圏環境科学科、きんたろう倶楽部、国際ソロプチミスト富山、NOWPAP本部事務局富山事務所、富山市、富山県、NPEC職員

【調査結果の概要】

100m²あたりの漂着物平均個数は382個(うち、「プラスチック類」の割合が61%(234個)と最大)
100m²あたりの漂着物平均重量は380g(うち、「プラスチック類」の割合が53%(201g)と最大)

漂着物調査の様子



漂着物問題に関する意見交換

